

2010年3月23日

ニュースリリース

日興アセットマネジメント株式会社

## 「アジア太平洋におけるベストETF運用会社」に選定

～「ETF エクスプレス アワード 2010」にて～



etfexpress

AWARD WINNER 2010

©Globalfundmedia Ltd. All Rights Reserved

日興アセットマネジメント株式会社(取締役会長兼 CEO:ティモシー・マッカーシー、以下「日興 AM」)はこのほど、英国のファンド関連ニュース提供会社「グローバル・ファンド・メディア社」の上場投資信託(ETF)専門サイト「ETF エクスプレス」が表彰する「ETF エクスプレス アワード 2010」において、「アジア太平洋におけるベストETF運用会社」に選ばれました。

「ETF エクスプレス アワード 2010」は、「ETF エクスプレス」の1,000人以上の読者の投票によって決定されるもので、運用パフォーマンスだけでなく、商品の革新性や一貫性、専門的知識の深さや透明性など数多くの要素に基づいて選ばれます。受賞者は3月18日(現地時間)にロンドンにて発表されました。

日興 AM はこれまでにさまざまなタイプのETFを計12本開発し、ご提供してまいりました。最近では、日本を除く先進国株式指数への連動をめざす「上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)」と、新興国株式指数への連動をめざす「上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCI エマージング)」の2本のETFを上場させています。また、2008年8月には、社内にETF専門部署「ETFセンター」を設立し、新商品開発や投資家向けサービスの拡充、関係機関との連携強化などといった、ETFに関するあらゆる活動を戦略的に展開しています。

このたび、日本、さらにはアジア太平洋地域において、ETFの運用会社として、最上の評価をいただきましたのは、日興 AM のETFに対する投資家ならびに市場関係者の方々の多大なるご支持によるものであり、大変光栄なことと受け止めています。

日興 AM は今回の受賞を励みとして、投資家ニーズにお応えする商品の開発やサービスの一層の向上に努め、ETF市場の更なる発展に貢献していきたいと考えています。

【ご参考】 グローバル・ファンド・メディア社の公式ウェブサイト <http://www.globalfundmedia.com>  
「ETF エクスプレス」ウェブサイト <http://www.etfexpress.com>

以上

\*当該評価は過去の実績が評価されたものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。

## ■リスク情報

- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。
- 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

## ■手数料等の概要

お客さまには、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、ご換金(解約)時にご負担いただく費用>

お申込手数料	上限3.675%(税抜3.5%)
換金(解約)手数料	上限1.05%(税抜1.0%)
信託財産留保額	上限1.0%
スイッチング手数料	上限0.21%(税抜0.2%)

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	上限2.9975%(税抜2.95%)
	一部のファンドについては、運用成果等に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。
その他費用	組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息、貸付有価証券関連報酬 など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記手数料などの合計額については、投資家の皆さまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

《ご注意》

- 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが設定・運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。(2010年3月19日現在)
- 上記に記載しているリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが設定・運用する投資信託についてお伝えすることを目的として作成した資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆さまに帰属します。投資信託をお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

## 日興アセットマネジメントについて

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会: (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

日興アセットマネジメント(以下、日興 AM)は、設立以来半世紀にわたり、わが国をリードする資産運用会社として、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、機関投資家のみなさまには投資顧問事業を通じて付加価値のある高品質なサービスを提供しています。

日興 AM の投資信託は、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など約 200 社に及ぶ販売会社のネットワークを通じて、お客さまに提供されています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する「ワールドシリーズ」プラットフォームを展開することで、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。

日興 AM は、国内初の社会的責任投資(SRI)ファンドを 1999 年に設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けて ISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を 2001 年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。

運用担当者の責任明確化、調査部門と運用部門の連携強化、リスク管理体制の整備など、これまで運用力向上のため行ってきた取組みが実を結び、リッパージャパン、アジアインベスター、R&I などの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興 AM グループ\*の運用資産残高は約 10.1 兆円(2009 年 12 月末現在)\*\*に上り、ロンドン、ニューヨーク、シンガポールに海外拠点を有しています。

\*「日興 AM グループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

\*\*日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)です。